

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成28年11月25日
【会社名】	第一化成株式会社
【英訳名】	Daiichi Kasei Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中野 淳文
【本店の所在の場所】	東京都八王子市明神町三丁目20番6号八王子ファーストスクエア6階
【電話番号】	042(644)6515(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 三浦 宏平
【最寄りの連絡場所】	東京都八王子市明神町三丁目20番6号八王子ファーストスクエア6階
【電話番号】	042(644)6516
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 三浦 宏平
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社は、当社の完全子会社である株式会社ディー・エス・シー（以下「DSC社」という）を通じ、持分法適用関連会社であるUltrafabrics, LLC（以下「Uf社」という）の持分を取得する手続きを開始することについて、平成28年11月22日開催の当社取締役会において決定いたしました。同社が当社の完全子会社となった場合、当社の特定子会社の異動を伴う連結子会社による子会社取得となりますので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第3号及び第16号の2の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

（企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第3号に基づく開示）

(1) 当該異動に係る特定子会社の名称、住所、代表者の氏名、資本金及び事業の内容

名称 : Ultrafabrics, LLC
住所 : 303 South Broadway, Suite 201, Tarrytown, NY 10591, USA
代表者の氏名 : Chief Executive Officer Clay Rosenberg
資本金 : 7百96万US\$（平成27年12月31日現在のMembers' Equity）
事業の内容 : 合成皮革販売

(2) 当該異動の前後における当社の所有に係る当該特定子会社の議決権の数及び当該特定子会社の総株主等の議決権に対する割合

当社の所有に係る当該特定子会社の議決権の数
異動前 : 320千US\$（うち間接所有分320千US\$）
異動後 : 約120百万US\$（うち間接所有分約120百万US\$）
総株主等の議決権に対する割合
異動前 : 15.79%（うち間接所有分15.79%）
異動後 : 100.00%（うち間接所有分100.00%）

（注）「当社の所有に係る当該特定子会社の議決権の数」は出資額を、「総株主等の議決権に対する割合」は出資比率を、それぞれ記載しております。

(3) 当該異動の理由及びその年月日

異動の理由 : 当社は、当社の持分法適用関連会社である米国の高機能ポリウレタン合成皮革マーケティング会社、Uf社の持分について、既に当社が間接所有する持分を除く全持分合計84.21%（以下「残持分」という）を取得することについて、残持分出資者らと協議してまいりましたが、平成28年11月22日開催の取締役会において当社の完全子会社であるDSC社を通じてUf社の残持分を取得することを決議し、同日残持分出資者らと手続きを進めるための基本合意書を締結することといたしました。Uf社の資本金の額が当社の資本金の額の100分の10以上に相当するため、Uf社は当社の特定子会社に該当することとなります。

異動の年月日 : 平成29年2月3日（予定）

(企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第16号の2に基づく開示)

(1) 子会社取得の決定に関する事項

当社は、平成28年11月22日開催の取締役会において、Uf社の取得を決議いたしました。

(2) 取得対象子会社に関する子会社取得を行う連結子会社の名称、住所及び代表者の氏名

名称 : 株式会社ディー・エス・シー
 住所 : 東京都八王子市明神町三丁目20番6号八王子ファーストスクエア6階
 代表者の氏名 : 代表取締役社長 中野 淳文

(3) 取得対象子会社の概要

商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号	Ultrafabrics, LLC
本店の所在地	303 South Broadway, Suite 201 Tarrytown, NY 10,591 USA
代表者の氏名	Chief Executive Officer Clay Rosenberg
資本金の額	7百万US\$ (2015年12月31日時点のMembers' equity)
純資産の額	8百万US\$ (2015年12月31日時点)
総資産の額	23百万US\$ (2015年12月31日時点)
事業の内容	合成皮革販売

最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益及び純利益

	2013年12月期	2014年12月期	2015年12月期
売上高	54百万US\$	58百万US\$	66百万US\$
営業利益	6百万US\$	8百万US\$	11百万US\$
当期純利益	6百万US\$	8百万US\$	11百万US\$

提出会社及び当該連結子会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係	当社は当該連結子会社を通して、取得対象子会社の持分の15.79%を所有しております。また取得対象子会社はその100%子会社を通して当社株式を100千株所有しております。
人的関係	該当事項はありません。
取引関係	当社から取得対象子会社へ継続的に当社製品の販売供給を行っており、その売上比率は直近決算で当社売上全体の78.8%となっております。

(4) 取得対象子会社に関する子会社取得の目的

取得対象となるUf社は、1998年に米国Springs社の合成皮革販売部門から独立する形で設立されました。当社は、Uf社設立時からDSC社を通して出資し、Uf社が販売する製品を開発、製造し供給するという関係を継続しております。

当社は、現在まで、Uf社との間で、北米及び欧州市場における当社製品の一部を独占的に供給する契約を結んでおり、これらの市場においてUf社は、当社製品の実質的な独占販売権を持ち、UltraLeather®のブランドでマーケティングを展開しており、Uf社の売上高は2013年に54百万US\$、2014年に58百万US\$、2015年に66百万US\$と、2011年以降、年間平均13.2%伸びております。

当社が開発・製造し、Uf社が販売するハイエンド合成皮革は、優れたデザイン性(色、柄)と高い機能性(触り心地、通気性、耐久性等)により、自動車、航空機の内装材、また高い耐摩耗性が求められる家具・シート材としての利用に注目を集めており、こうした産業分野の顧客との事業を長期的に継続するには、顧客のニーズを迅速に新製品に反映させる開発体制が必要となります。

当社は、Uf社から欧米の顧客のニーズを素早く、的確に得ることで顧客の要望に応えた製品の開発をしておりますが、自動車や航空機の内装材では、今後、天然皮革から合成皮革への流れがさらに強まることが予想されており、これらの産業分野の顧客への販売機会を機動的に取り込む必要があります。

他方、現在は、製造開発を担当する当社と、販売・マーケティングを担当するUf社が、それぞれ独立した会社であるため、業務や在庫管理等に重複や非効率な面が存在します。また、日本で生産する製品を主として海外で販売する

という事業形態であることから、為替リスクが不可避であるところ、現状は、契約に基づいて両社が個別にこのリスクを管理しておりますが、これを一元化することで、より効果的な為替変動リスクの管理を行えるようにすることが望ましいといえます。

このように様々なリスクに対応しながら、事業を最も効率よく成長させるには、当社とUf社がより緊密に連携していく必要があります。こうした状況において、当社とUf社とで協議を行った結果、迅速かつ機動的な意思決定を可能とするため、当社グループがUf社を完全子会社とし、一体として本事業を遂行するのが最善との結論に至りました。

対象子会社取得後は、Uf社のUltraLeather®のブランドでグローバルにマーケティングを推進し、当社は製品の生産及び原料開発等の基礎研究を担当し、商品開発については両者が一体として行うことで顧客ニーズに対し、より迅速に対応できる体制を構築します。

また、Uf社のマーケティングプラットフォームを有効に活用し、国内販売活動を進めることで、さらなる販売機会の増加とともに、為替変動リスクの低減をも図ることが可能となります。

以上のとおり、本件は単純な買収による子会社化に止まるものではなく、事業統合による両者の関係の緊密化及び益々の拡大発展を企図したものであります。

(5) 取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額

Uf社持分売買代金	約120百万US\$
アドバイザー費用等	約1億円

以 上